

2008年 1月31日 京都新聞朝刊に
武田敏也院長の『透析治療と日常生活』に関する記事が掲載されました。

健康生活のススメ ～ 腎臓と泌尿器の健康 ～ Q&A 専門医がお答えします

健康生活のススメ VOL.7

腎臓と泌尿器の健康

Q&A 専門医がお答えします

腎不全とは

浮村 理氏

排尿のバランス正しく把握

透析治療と日常生活

普及しつつある在宅療法

前立腺がん

尿閉までに積極的な治療

実際の新聞記事

透析治療と日常生活

- Q** 透析治療について。
- A** 透析には血液透析(HD)と腹膜透析(CAPD)があり、腹膜透析はおなかの中にカテーテルを入れ、半透明である腹膜を通して自然な形で水や老廃物を取り除いて血液をきれいにする方法です。近年、自宅のイスに座りながら自分で透析液のバッグ交換ができ、毎日(夜間寝ている間)でも透析が行える在宅医療も普及しつつあります。
- Q** 透析治療はなぜ必要なのですか。
- A** 腎臓の動きは健康な人の約10%以下になると、血液中の老廃物がたまって全身の細胞に悪影響を及ぼし、最終的に腎不全になってしまいます。その状態を改善するために、血液を浄化して毒素を外へ出す透析治療が必要になるのです。
- Q** 日常生活の影響は。
- A** 「施設血液透析」では、一回の透析に約四時間かかり、通常週に三回通院する必要があり、患者さんへの負担も大きくなります。「腹膜透析」の場合、ご自分で腹膜内に透析液を注入する方法で、最近では自動腹膜灌流装置(APD)が開発され、夜間睡眠中でも透析ができ、食事制限も緩やかで社会復帰も円滑にできます。また、「在宅血液透析」は病院から透析装置を借りて、自宅でご自分またはご家族が注射針の挿入を行い、血液透析をすることで、日常生活のリズムに合わせて透析が行えます。
- Q** 日常生活での注意は。
- A** 腎臓病の症状は尿に現れ、尿量の多少や濁り、排尿回数などで自身や家族も判断できます。腎不全になる可能性が高い生活習慣を改善することで、高血圧、糖尿病、肥満を予防することが大切です。特に糖尿病の人は腎不全になりやすく、バランスのとれた食事と適度の運動、睡眠と休養の実行をお勧めします。